

# 肉用家鴨(あひる)「大阪種」を用いた加工食品の開発支援

環境研究部資源循環グループ

## ■事業の概要

食品産業と農林水産業の連携により、地域ブランドや新商品を開発する農林水産省の食料産業クラスター事業を活用して大阪家鴨(あひる)を用いた加工食品の開発支援を行った。



## ■事業の目的

- 1 研究所が保有する大阪家鴨の商品化
- 2 参加企業に対し、団体、行政、研究所が協力して、ソフト面や技術面から製品開発をサポート
- 3 実用化を推進

## ■当研究所が担う役割

- 1 大阪家鴨生産から販売までの事業者が結びついたクラスター(事業者群)の事務局として商品開発調整を担当
- 2 試作した加工品の消費者評価の分析
- 3 試作した加工品の食品官能検査及び物性検査(歯ごたえ)の実施

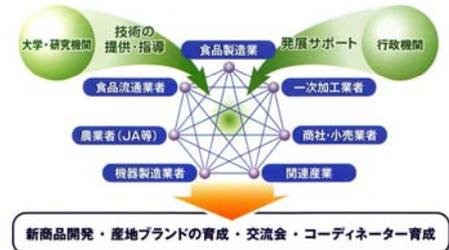
## ■事業の内容

### ○大阪家鴨クラスター専門部会の構成

ヒナの肥育・食肉処理・卸	(株)鳥白本店
大阪家鴨肉の加工	タケダハム(株)
販売戦略	(株)鳥芳
衛生関係各種検査分析	(財)日本食品分析センター
大阪家鴨(あひる)の生産普及啓発	(社)大阪府畜産会、 大阪府総合畜産農業協同組合連合会
行政機関	大阪府環境農林水産部動物愛護畜産課、 流通対策室
研究機関 大阪家鴨のヒナの生産	大阪府立環境農林水産総合研究所

### 食料産業クラスター協議会の体制(枠組み構築)

●ネットワークの形成により食品に関する知識、技術の集約を目指す。



## ■事業の経過

21~22年度

- 試作品に対する消費者の評価結果に基づく改良
- 官能検査、物性検査に基づく改良
- 細菌検査等安全性の確認

23年度

「大阪家鴨ロースト」大阪産(もん)認証取得、商品化・販売開始

24年度:生協連との商談成立



### 【大阪家鴨クラスター専門分科会参画機関】

(株)鳥白本店、タケダハム(株)、(株)鳥芳、(社)大阪府畜産会、大阪府総合畜産農協連、(財)日本食品分析センター、大阪府環境農林水産部・動物愛護畜産課、同・流通対策室、大阪府環境農林水産総合研究所

## 肉用家鴨（あひる）「大阪種」を用いた加工食品の開発支援

出雲章久・安松谷恵子・西村和彦\*・藤谷泰裕（環境研究部 \*現 研究調整監）

[参画機関：(株)鳥白本店、タケダハム(株)、(株)鳥芳、(社)大阪府畜産会、大阪府総合畜産農協連、(財)日本食品分析センター、大阪府動物愛護畜産課、大阪府流通対策室]

### 1. 目的

食料産業クラスター事業は、(財)大阪府食品産業協会が所管する農林水産省の補助事業で、地域の特色ある製品の開発と市場調査を国庫補助で行い、その後の新製品販売を軌道に乗せることを目的としている。当所が育種・造成した大阪家鴨の夏季の需要を促進するため、関連企業の連携の下、食料産業クラスター事業において、大阪家鴨の商品開発を行った。

### 2. 方法

大阪家鴨のヒナは当所が生産し、ヒナの肥育・食肉処理・卸は(株)鳥白本店が、食肉加工はタケダハム(株)が行い、販売戦略は(株)鳥芳が担当した。また、食の安全の面から(財)日本食品分析センター、関連団体として大阪府畜産会と大阪府総合畜産農協連、そして大阪府環境農林水産部から動物愛護畜産課と同流通対策室が参画して大阪家鴨クラスター専門分科会を構成し、商品開発をサポートした。

事業期間は1年で、5回の会議、3回のイベントへの出展を行い、試作品の試食とアンケート調査を実施して、その評価結果を参考に加工方法を修正した。また、(財)日本食品分析センターによる細菌検査で安全性を担保し、当所による官能検査と菌ごたえの機械測定を実施して、アンケート調査の結果とともに判断材料とした。

### 3. 結果および考察

大阪家鴨（大阪種）の加工方法は、燻製とローズ焼きを採択したが、パストラミ風や煮物風レトルト製品等の案も多出して活発な議論が行われ、こうしたことが今後新たな連携の種となることが期待された。アンケート結果は、おおむね好評であったが、消費者によって燻煙臭の強さの感じ方が大きく異なることが示された。

細菌検査では菌が検出されず、試作品製造過程の安全性が確認された。また、アンケートで菌ごたえがやや堅いと評価されたローズ焼きは、燻製に比べて、機械測定でも剪断力価が高かった。

平成21年度に事業を実施し、加工方法の決定を見たが、22年度は参画企業の販売先が異なる等の要因から販売形態などで意見が分かれ、商品化には至らなかった。

平成23年度は、これまでの問題を再検討するとともに、大阪産（もん）の認証を取得し、ローズ焼きを商品化した。製品は「大阪家鴨ロースト（第1図）」の商品名で現在販売中である。

平成24年度は、製品化に至る全ての工程が大阪府内で完結している点や大阪産（もん）の認証等が評価され、生協連との商談が成立しており、一層の発展が期待されている。



第1図 大阪家鴨ロースト